

- ・巻頭コラム (杉浦良)
- ・お知らせ (宿泊研修報告)
- ・太陽と緑の会国府作業所新築、其他工事記録帳 (木内昭)
- ・スタッフ投稿(小野裕太郎)
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

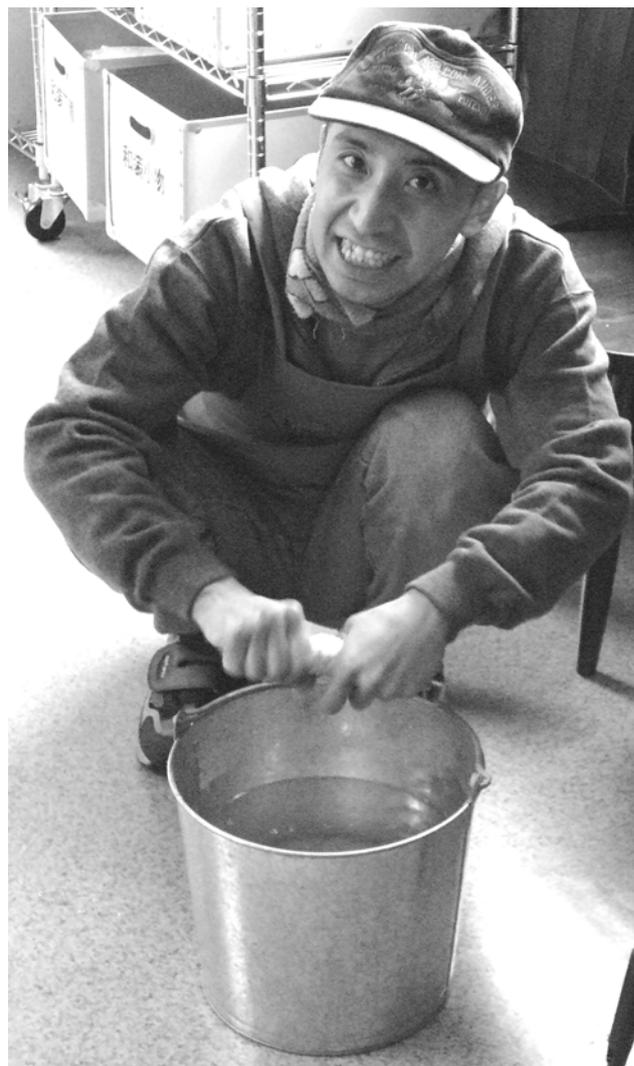
2006年12月 117号

ー巻頭コラムー

杉浦 良

「ニューレオマワールドの近く、香川県綾歌町岡田に、手づくりパンと焙りたて珈琲豆の店『COSMOS』があります。三年前に焼肉屋さんだったこの場所を、今のお店に改装されたのがNPO法人シーズクリエーションです。「共同作業所コスモスの家」として、主に精神障害の方々の働く場と集う場の確保を目的に、他にうどん屋さんや内職を中心とした作業所合わせて三ヶ所を運営されています。平成元年十一月から内職中心の法定外作業所として活動を始め、精神保健ボランティアとして参加された竹内さん（現副理事長）が関わりだしたのが平成三年、紆余曲折を経て現在の形になりました。「大変なんよ・・・。運営するのが・・・。」見学のお話を頂いた開口一番の言葉です。「雨漏りも修理せんといかんし、冷凍生地を使わない無添加パンは、生地作りに最低五時間はかかり、コストも下げられんし・・・。見学されても見るとこあらせんよ。働くメンバーさんの話を聞いたりするのは得意だけど、事業としてやるのは難しいねえ・・・。もう逃げたいと良く思う・・・。」そんなあつけらかんとした受け答えに、これまでの苦労が見え隠れします。「メンバーさんは、ここに十七人かな。うちは春先より秋から冬にかけて調子を崩す人が多いんよ。今三、四人来れていないかな・・・。精神障害のメンバーさんは、その時その時の

調子の良し悪しがあるし・・・。ここでドリップ珈琲が美味しく入れられるようになると、すぐに一般就労してしまう子もおったりして・・・まあいろいろだわ。ただこれからここをどうするか?といった時『働く場所が地域に欲しい』というメンバーさんの



言葉が、私を今の形にさせたように思うわ・・・。」そう語る竹内さんの横顔に、精神障害者の就労を取り巻く『現在』が映し出されているようでした。お店の2枚のチラシには、三周年記念セール、プレミアムグルメコーヒーセット 30%OFF、コスモス 2006 年冬のギフトとあります。販売戦略から経営まで、精神保健福祉とは別の試され方が要求されます。障害者自立支援法が、今年の十月一日から完全施行され「施設収容から在宅支援に」「ケアのウエイトを就労へのウエイトに」そんなキャッチフレーズが叫ばれるなか、その最前線を感じさせていただきました。」

徳島新聞の夕刊に「障害者地域作業所最前線」と題して、この雑文を書かせていただきました。秋の研修旅行と称して、11月28日に、香川県綾歌町にある「コスモスの家」を、スタッフとメンバーそしてボランティアの方々も一緒に見学させていただいた時のものです。思えば、コスモスの家の竹内美幸さんとは（社福）ハートランドの理事長、山下安寿さんから紹介され、何度かお話を聞く機会があ

りました。福祉指導員ぽくないところが魅力的な、言葉と行動に乖離を感じさせないその迫力に、障害者福祉が無い無いづくしだった頃の匂いを、感じさせていただきました。「障害者福祉では、なかなか飯が食えない・・・」そんな言葉が語られた時代を、竹内さんの語る言葉が蘇らせます。福祉施設に勤めていて「どうも違うな？」という感じを持ち続けたことが、今の竹内さんにつながることになる訳ですが、その持続は口で言うほど生易しくはありません。「試され続けることに耐えられなくなった時、いつでもコスモスの家を去る覚悟は持っている」そう帰り際の竹内さんの目は、私に語っているように感じられました。私たち太陽と緑の会の活動も創立から36年、リユース、リサイクル活動を障害者地域共同作業所として始めて、23年を迎えます。今年4月24日、皆様のご支援を頂戴することで、活動拠点の復活が可能となりました。「山あり谷ありの道程に、臆することなく、ガウディの建造物を支える亀の如く、歩んで行きたい」と思わせられた、その時です。



昼食のひととき

ごはんのみそ汁は、炊事トレーニングも兼ねて、メンバーが作ります。

太陽と緑の会国府作業所 新築、其他工事記録帳

木内 昭

さて時を見て堤防の上や隣地より焼けた家を見てみるとこれは片付け迄でも大変だと云う事が判って来た。何しろ軽量鉄骨であるとしても、柱に締められているボルト、掬子（ねじ）を外すので手間が大変、外壁を構成している軽鉄柱は溶接されている。焼けたアルミサッシ、硝子は半分以上が焼損している。屋根上の太陽熱発電のセット、それと日頃見なれていた電気器具類、テレビなどの焼けたもの、五万冊とも云われている古本の焼けたもの、二万着はあると云う、アセテートなどの衣類、費用ばかりかかって得る事の無い片付け、屋外処分、これは十分研究しなければと思った。東の方にある変形の平屋建倉庫兼店舗の損害は僅かで、屋根と外壁と下地間柱の取替えて済むと思われた。

調べは現場がもう少し落ちついてからにしようと思った。それと火災による調査が続いている現場では新しく建設する為の図面作製は今暫く待つ事とした。その内時を見て私の自由立入りの許可をお願いする事とした。

三月一日の徳島新聞に、県警は燃え方が最も激しい、建物北側の一階出入口付近が火元との見方をしている。周囲に火の気がない事や、NPO関係者の話などから、不審火の可能性が高いとみて居り、失火と放火の両面から慎重に調べているが出火原因に結び付く手掛りは、得られていない模様で引続き検証を行い、原因の解明を急ぐ。この日の検証は午前九時過ぎから捜査員ら約二十人のほか、NPOの関係者も立会い実施した。この様な検証、調査は四月一杯まで続いた。立入禁止の巾広テープもそのまま残っ

て居った。一方私の自由立入は、すぐ認められた。これで長尺のスケール持込んで計る事も出来て、図面も二種類をこしらえ、参考として杉浦さん、櫛田さん達に検証して貰う事が出来た。

図面が出来ると工事費用の算出である。急いで精算せねばこの仕事は進まぬ。費用算出は急いでやらなければ…。

十七年四月二十二日昼間、杉浦さんが突然私宅へ来られた。工事費の事である。片付け作業、鉄骨本体工事、木造工事、電気設備、給排水工事、浄化槽(35人槽)、場内舗装などの附属工事、総額で四千万円はかかりますと説明した。杉浦さんは別に驚く様子もなく帰られた。

四月十六日～五月十五日、焼けた本館内の電気器具、中古衣料、古本、内装材の焼残りや灰をゴミ袋約五百袋に入れてダンプカーで場外般出した、これは参加者全員が眞黒になる作業であった。ボランティアの婦人部の人々延べ百人が参加して呉れた。

当初より気になって居った仕事であったのが鮮やかにやってのけた。太陽とみどりの人々をサポートする人達の存在を改めて思う作業であった。内外の私共には太陽の人々の底力を感じた一週間であった。(次号に続く)



宿泊研修報告

11月27日、28日の2日間に渡り、香川県において、太陽と緑の会リサイクル作業所、太陽と緑の会月の宮作業所合同で宿泊研修を行いました。当該研修は、障害者の自立と社会参加を図る活動として、財団法人徳島県福祉基金からの助成金22万円に自己資金を合わせ実施致しました。メンバー、スタッフ、ボランティア、計32名が参加しました。

今回の研修では、平成元年11月より17年間に渡り活動している「共同作業所コスモスの家」(香川県丸亀市綾歌町岡田下545-4)を見学しました。無添加パン・洋菓子の製造販売、珈琲豆・珍味・かつおぶし・煮干の販売などに取り組んでおり、精神障害の方を中心とした小規模作業所です。当会と同じくNPO法人が運営しており、この10月より地域活動支援センターに移行しました。

宿泊先は2箇所の候補先から、当会で働く様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア全員参加による投票により、塩江温泉樺川荘(香川県高松市塩江町)に決定しました。

11月27日午前9時、太陽と緑の会リサイクル作業所に集合。午前中は店も開

け、通常通り作業を行いました。手づくりのおにぎりのみそ汁で昼食をとり、午後1時、樺川荘の送迎バスと、緊急時移動用の当会ワゴン車の2台に分乗し、樺川荘へ向かいました。天候は曇り時々雨。

午後3時半、樺川荘に到着。2年前にもお世話になったところで、そのときはウガンダからの研修生のアロイさんによる太鼓の演奏でに盛り上がりました。

到着後は、温泉につかる人、近くを散策する人、お土産を探す人、テレビを見る人など、思い思いの時間を過ごしました。午後6時に夕食。メンバー、ボランティアが一言ずつ挨拶を行い、市民の皆様方のご支援により建物が再建し何とかここまで来たことを、改めて感謝の気持ちで振り返りました。旅に不慣れな面々が多い中で、支配人さんをはじめ、旅館の皆様がいろいろとご配慮下さったおかげで、格安の料金で楽しい一夜を過ごすことができました。

11月28日午前7時半朝食。午前9時半、樺川荘を出発。曇り時々晴れ。午前10時半、共同作業所コスモスの家に到着。NPO法人事務局長の平田さんと副理事長の竹内さんより、作業所創設の経緯や現状についてお聞きしました。

見学終了後、四国霊場第88番札所大窪寺前のうどん屋さんで昼食をとり、午後3時半太陽と緑の会リサイクル作業所到着、解散。



共同作業所コスモスの家



事務局長平田さんからお話し頂きました。

今回の見学では「福祉の制度の枠に収まりきれない人たちを、制度福祉の枠組みとは違うやり方でサポートしていきたい」という思いを実践する中で「福祉と経営の両立」の問題に直面し、経営という側面の強化が課題になっていることが伺えました。

パンの製造についても、メンバーさんをフォローアップし、作業の流れにからませていく一方で、品揃えや価格設定も含め、いかに販売し収益につなげていくか、という問題もあります。

今年の9月から本格的に動き始めた障害者自立支援法の影響も大きく、国庫補助が4月から9月までゼロになったため、スタッフ、メンバーの給料を1割カットしたり、市外からの通所メンバーに対する扱いを巡って行政サイドと交渉した、とのことでした。

運動性と事業性の両立は、当会にとっても大きな課題であり、当会の今後の運営を考えていく上でも大変参考になりました。障害者福祉という分野においても、事業として成り立たせるためにはマネジメントが重要であることを改めて感じました。当会で働く様々なハンディを持つメンバーも、コスモスの家のメンバーさんについての話、竹内さんがここで働く中で大切にしている思い、などそれぞれ感じる場所があったようです。

人手が少なくお忙しい中、大人数でお伺いしたにも関わらず、貴重なお話しを頂戴し、本当にありがたいことと思います。今後のご活躍とご発展を願っています。



皆様のご支援により再建した建物。毎日丁寧に掃除しています。

お知らせ

見学・実習・取材

11月16日 2002年9月に日本で最初にLOHASを紹介する記事を書いた大和田順子さん（消費生活アドバイザー／環境カウンセラー）と、徳島県環境首都課の市原課長補佐が当会を見学。当会の不用品・資源ゴミのリユース・リサイクルのシステムや事務局建物のエコハウスシステムについて、ご説明させていただきました。

11月20日、21日、24日 国府養護学校高等部2年生の清水くんが、当会リサイクル作業所にて職場体験実習を実施。緊張しながらも、リユース商品の陳列準備、衣料品売場の作業などを体験。

12月1日 タウン誌ワイヤーママ福光さん、リサイクルショップの紹介記事のための取材で来所。12月14日掲載予定。

会議・イベント

11月18日、19日 第27回徳島市農林水産展（於：徳島市藍場浜公園）に、太陽と緑の会月の宮作業所が出展。所長の櫛田とメンバー3名が参加。引き取り手がなく廃棄処分となった放置自転車を修理・整備したリユース自転車、及び月の宮作業所で収穫した無農薬野菜を販売。

11月23日 ボランティア365体験報告会～徳島報告会にが徳島市内の徳島市内の県青少年センターにて開催。当会より昨年度の青年長期ボランティアで現在アルバイトの小野君と、今年度のボランティア萩原君が出席。

11月24日 環境ボランティア交流会実行委員会 当会代表杉浦出席

12月2日 国府養護学校学校祭に太陽と緑の会リサイクル作業所所長小山出席。

11月26日 徳島市内の大塚ヴェガホールにて、ザンビア支援 ヒダノ修一太鼓ソロコンサートが開催。主催者のNPO法人TICO（徳島で国際協力を考える会）の皆様のご好意により、当会のハンディを持ったメンバー7人、スタッフ1名、ボランティア1名の計9名をご招待して頂きました。メンバーの方は迫力のある演奏と軽妙なタッチのトークに感動しておりました。おかげさまで、大変貴重な経験をさせて頂くことができ、本当にありがとうございました。

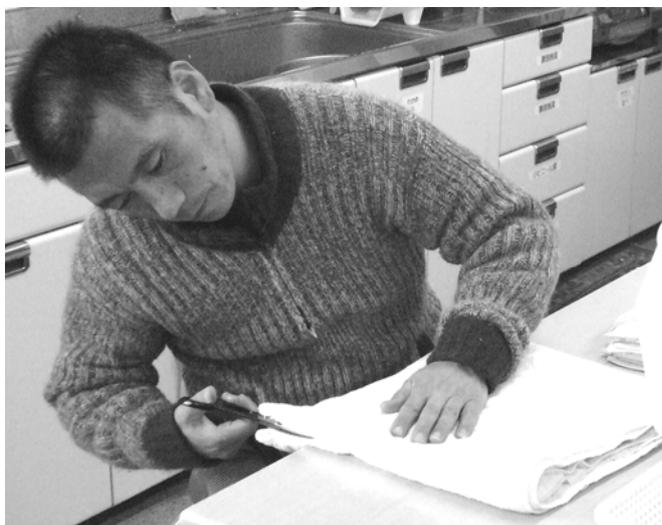
講演など

11月30日 平成18年度徳島県身体障害者相談員研修会が徳島市内の県総合福祉センターにて開催。当会代表の杉浦がパネリストとして参加。

冬期休業

12月29日～1月4日、冬期休業とさせていただきます。市民の皆様方には大変ご迷惑をおかけ致しますが、よろしくお願い致します。

なお申し訳ございませんが、休み期間中の不用品などのお持ち込みはご遠慮下さいますよう、よろしくお願い致します。



ウエス作り。500グラム100円～ 販売中

こんにちは。小野と申します。僕は去年「青年長期ボランティア」としてここ「太陽と緑の会」にきました。青年長期ボランティアとは地元を離れ、活動先に住み込みで365日(1年間)フルタイムでボランティアをするというもので通称V365と呼ばれています。しかし、V365としての活動が終わっても地元に戻らずそのままそこに就職したりして残る人が毎年います。僕もその一人で今はアルバイトとしてですが「太陽と緑の会」で続けさせていただいています。僕がV365に参加したのは一言で言うと自分探しの為でした。家族や友人、先輩方にいつも支えられている中で僕は、一人で歩く事が出来るのだろうか、自分の力はどの程度のものなんだろうかと試してみたくなり参加しました。

V365としての前半は火事で焼けてしまった作業所の片付け作業、それが一段落したら月の宮作業所での農作業、自転車のリサイクルや養鶏に関わり、後半は国府作業所で衣類の担当をやらせていただきました。

ここは僕が今までやってきたアルバイトの仕事とは全く違って毎日同じ作業という事はありません。いつどういう品物が入ってくるかわからないし、メンバーも昨日と今日で作業の早さが全然違う事もあるし、みんな同じ説明で同じ作業が出来るわけでもない、それぞれ得意な事、苦手な事がはっきりとあります。そういう毎日の中で調子が良い時、悪い時の微妙な表情の違いがわかったり、メンバー同士あーだのこーだの言いながらも作業

が進んでいくのを見つけたり、最初ハンガーのかける向きを覚えられなかったメンバーがある日売場で「このハンガー逆ちゃうん？」なんて気付いていたりとかさんの発見があります。そんな発見の毎日が僕にはとても魅力的に思えてそれがV365の活動が終わった今でも残っている理由です。

ここに来て障害者=護るべき存在という考えから支える存在という考えに変わりました。そんな人の考えをも変えてしまうメンバーの方々と共に生きながら僕は今までにない何か手ごたえを感じています。(小野 裕太郎)



アルバイト 小野裕太郎 21才・福島県出身

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2006年10月1日～11月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

匿名 ¥1,000、西谷 ¥3,000、栗若・宮本 ¥5,000

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○久次米、関野、平松、村上、中村、山本、高橋、橋本、竹川、八巻、西、藤本、中津、渡辺、滝花、小倉、林、西條産婦人科、鎌田、岩本、滝口、竹中薬局、金野、田村、池本、大北、山西、井堀、片岡、秋田、松浦、坂川、矢野、浅田、三好、山口、久米、千草、井上、大屋、小林、三島、川田、富永、森本、ケアハウス富田、新開、小西、昭和薬局、米田、河野、岡本、松原、宇津木、松田、中山、森、服部、岡田、広瀬、谷口、住友病院、徳島ライオンズクラブ、松崎、永正、一番町電化、中野、遠藤、木川、塩田、工藤内科、中原、大阪、杉田、後藤、割石、福島クリーニング、宮武、西山、西田、泉、田藤、杉山、小川、中川、奥田、カットサロン岸本、大倉、吉田、中央興信所、松本、いのこ、長谷、篠原、勝瀬、瀬戸、吉成、木村、多田、播磨、トイタニ、稲原、道上、鈴江、成瀬、小畑、藤原、野田、橋本、米延、岸、坂本、吉川、竹房、梅本、游学、久米川、上徳、前田、堂野、板東、佐藤、生光学園寮、阿部、筒井、武田、早瀬、木内、市原、藤井、美馬、平田、森西、富岡医院、トラスト、池光、尾形、臼井、小西、永松、吉岡、渋谷、細川、鹿山、作田、伊澤、鈴江、吉田、真鍋、松田、メンズショップジロー竹田、白川商事、松島、宇田、モーラ、三成会、岡本、三木、初崎、三笠、谷脇、井端、島村、飯田、内田、三浦、滝花、成瀬、鶴島、仁井、近藤、吉田、斉藤、バルネケ、増田、黒田、高丸、藤見、高松、竹原、原郷、苛原、立石、黒地、小倉、東倉、渡辺、井上、原田、小島、大木、大田、渡部、徳倉、篠崎、樋田、大阪歯科、板東、川原、西川、柳、助任小学校、斉藤、石本、松原、木村、石川、浜田、鶴田、小林、米沢、大東空調、佐々木エンジニアリングリサイクルセンター、柴田、大杉、渡辺、吉田法律事務所、若槻、徳嶋国際交流協会、柳、山村、後藤、平井、嶋村、高橋、米延、細川、木村呉服店、松田、米沢、徳島自立、出村、徳島港・小松島港整備事務所、天野、原田、吉岡工芸、藤原、小川、岡部、阿部、雲財、益田、滝沢、一番町電化、沖津、山川、前田、山崎○北島町○和田、田中、セシール美容院、角村、佐々木○鳴門市○井戸、大浦、寺田、岩瀬、原田、久龍、林、大寺、山本、仲須、中津○石井町○芝、丁山、久米、香川、長篠、茶園、小川、白木、藤原、川端、武市○小松島市○ケアハウスローズガーデン、松浦、セカンドストーリー○藍住町○播磨、小泉、桑村、澤、萬藤、石井

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○浅香、高橋、竹内、松本、長谷部、十川、中山、朝川、村谷、志摩、元淵、森、河村、小川、川真田、森本、藤本、森川、宮本、倉橋、為実、照本、楠本、伊勢、原、Norman.White、長瀬、大下、三枝、中野、福澤、松野、鹿児島、藤谷、三木、岡山、旭、大北、石川、中平、井内、藤原、井上、内田、宇野、片岡、井口、矢部、長楽、佐古、青木、大谷、土居、小笠原、株本、三浦吉村、井原、戸部、住吉、西谷、中林、河野、若田、太田、上野、平良、佐藤、吉岡、山崎、滝本、沖川、南無なむ堂、竹内、樋田、長越、中川、近藤、知野、和田、松浦、矢野、岩見、福島、市原、前野、桑原、北野、尾方、山本、楠、前田、萩原、勝浦、橋本、金本、柿原、谷口、大西、福井、田中、富永、川上、佐野、名田、木屋村、久次米、鎌田、島、山岡、秋田、岡田、JVC、大松、川口、西部、篠原、長崎、宮内、福田、安田、野上、東、増岡、木邑、岩野、榊、仲野、斉藤、芦田、(株)総合ビル、鳥井、大島、佐々木、メンテス、中林、谷脇、杉原、藤井、武田、西山、富峯、(株)クラッシー、長尾、加藤、岡本、牧野、谷川、長浜、香川、岸、岩瀬、塩田、大原、ストップDVサポートの会、東條、脇、四宮、大塩、山田、厚美、蔵本、鈴木、川上、西口、高木、住友、杉本、工内、矢木、斉藤、竹本、四宮、高田、松永、奥村、榎尾、中園、戸田、増田、夏木、原田、福本、堤、松本、鴻野、辻、大栗、福富、平良、林、松浦、野崎、樋田、森井、鶴熊、菊地、近藤、岩佐、藤坂、野田、富永、森、和田、久米川、浮津、佐藤、柏原、市原、宇野、中村、社、宮田、高津、北川、阿部、大塚、木村、大久保、和泉、檜葉、上野、宇本、長尾、原、森下、金沢、河田、伊原、新居自転車商会、長田、石本、中西、近久、伊藤、高橋、藤岡、長谷部、山内、片岡、朝景、窪川、西川、和田、谷川、井口、赤石、柏野、森住、久米川、広保、滝本、岸、篠原、力安、柴田、川内町北小学校PTA、井川、大西、藤本、以西、田村、大北、上川、斎田、地福、谷脇、岩野、横尾、フィアウージョ、三浦、豊田、沢田、沖津、松浦、井上、大西、工内、横関、板東、伊藤、野田、堤、稲井、中山、森崎、香川、宮田、四宮、祖上、山本、大島、金本、藤垣、水口、武市、福澤、村本、濱、森田、田中、岩崎、橋本、田所、杉本、秋野、蔵本、近藤、夏木、清家○北島町○大川、井上、岸本、小関、北島、岩木、橋田、中央自動車○石井町○田村、藤田、多田、滝川、深尾、渡辺、兼子、高橋、永岡、秋山、中川、明石、佐々木、田中、秋田、木村、中木、清重、久米、谷崎、小島、藤重、豊田、西村、森下○板野町○扶川、吉野、北原、三木、森本、沖津○藍住町○高瀬、山橋、板東、楠本、市原、吉本、尾形、三好、鈴木、上崎、多田、藤原、高島、山本、中川、松下、瀬川、鹿児島、中村、南本、河野、北岡、末次、西野、虹の里、南本、徳元、高瀬、西野、黒川、中尾、四宮、出口○美馬市○北岡、高木、山西○上板町○藤井、田村、村上○東みよし市○中岡、正木○海陽町○丸田○那賀川町○新居、木頭小学校、丸山○吉野川市○加本、古山、福田、川真田、中川、青木、竹内、坂野、松岡、阿部、長谷、浅野、柴、金子、松田、後藤田、滝口、田中、川野、竹内、藤田、多田、井上、鎌田○鳴門市○玉垣、岡山、三間、青山、島、寺田、土佐、林、村賀、中山、乾、原田、仲須、根来、谷口、寺本、多賀、野村、土井、寺田○松茂町○佐藤、中西○つるぎ町○橋本○阿南市○松田、長島、森、笠井、浜口、中本、保田、玉田○神山町○中原○小松島市○宮田、濱田、吉島、矢田、藤岡、谷○阿波市○市川、堀尾、井内、武岡、割石、藤原、月岡、柏木○東京都○内藤○広島県○ほっとはうすのばら○三重県○塚本○兵庫県○宮本、足立○静岡県○杉本○香川県○中村、漆原、三谷

市民の皆様からご提供頂いた品物のうち5分の4は、品物としてのリユース、もしくは資源としてのリサイクルにつなげ、有効に活用させて頂いております。

なお入念なチェックを行ってはおりますが、万一、お名前の記入漏れ、誤字・脱字等ございましたら、事務局までお申し付け頂ければ幸いです。

編集後記～新しい販売戦略について～

新館がオープンして半年が過ぎ、当会の運営に関する建設的なご意見、ご提案も頂けるようになりました。価格設定についてのご意見も時々頂戴します。

当会では建物再建に伴い、出来るだけ見やすく快適に買物ができるよう、リユース品の展示販売方法を変更しました。

例えば、食器類は洗浄・磨きの工程を経て陳列するようになりました。くつ、かばんもクリーニングを施してから並べるようになりました。

以前は、汚れた食器も油まみれのフライパンもそのまま展示していました。通路も品物で埋め尽くされ、品物をまたいでいかないと前に進めないほどでした。店内の清掃や接客も行き届かず、薄暗く、売場と呼ぶには程遠い状況でした。普通の店では当然行っていることが、ここではできていなかったわけです。こんな所では買物する気になれない、と敬遠されていた方も多数おられたことと思います。その代わりに、市場価格よりかなり安い価格設定を行ってきました。古物業者の方が毎日、朝と晩、足繁く通って来られたのが、何よりの証拠です。

建物再建後は、ひとつひとつの商品に手間をかけるようになり、店内の清掃にも力を入れ、そのコストを価格に含め、リユース品市場価格より少し安い程度の価格設定を行うようになりました。その分の収入は、そこの作業に関わる様々なハンディを持ったメンバーに工賃として還元していきます。新しい作業を創出することでメンバーの可能性が広がると同時に、新しいメンバーがここで働けるようになります。

価格設定につきましては、NPOだから、非営利だから安くしなければいけない、ということではありません。事業の規模や内容にもよりますが、民間団体としての自立性を確保するためには、非営利であってもきちんと収益を上げ、事業資金を捻出していくことも課題のひとつとなってきています。NPOの評価基準は非営利事業の成果です。どれだけの事業成果をあげ、社会に貢献しているか、という点が重要です。

当会の事業は単なるリユース・リサイクル事業ではありません。地域で暮らす様々なハンディを持った人達に働く場を提供し、精神的・経済的自立をサポート



お買い得リユース品がつめ放題です

するとともに、地域社会との接点を作ることで相互理解を進め、ハンディのあるなしに関わらず住みやすい街を作っていく、という障害者地域福祉の側面をあわせもつ、複合的有機的な事業です。

当会を利用される方の多くは、障害者福祉についてそれほど関心を持っておられるわけではありません。しかし、当会に不用品を提供して下さったり、リユース品を購入されることで、結果的に障害者地域福祉にも貢献していることとなります。

当会では様々な側面から検討した結果、再建した新館では新しい方法を導入しました。おかげさまで、これまで当会には見向きもされなかった方が足を運んで下さるようになり、当会で働くメンバーにとっても、より一般就労に近い環境の中で、次へのステップとしての意味合いも含めた形で働くことが出来るようになって来ました。この点は、事業成果としてあげることができるかと思えます。

もちろん「売場や商品はきれいだけでなくもいいから、とにかく安い方がいい」というニーズも大切にしています。常時50円均一販売の「掘り出し物コーナー」を設置している他、雑貨・食器・衣類の「ゴミ袋1袋つめ放題300円セール」を定期的に行っており、大勢の皆様が宝探しを楽しんでおられます。

また新館の方でも、再建への感謝の気持ちをこめて「2割引感謝セール」を行ったところ、好評だったので、12月22日から3日間、第2弾を行う予定です。今回は、先着100名様限定で、コーヒー、紅茶をお出しする予定です。

今後とも、ご意見ご提案などございましたら、事務局までお寄せ下されば幸いです。(文責：小山)

今年も残すところ、あとわずかとなりました。今年、ソーラーパネル再設置、浄化槽工事、敷地内舗装工事、内装工事など、建物再建工事の最終段階に始まり、ディスプレイ備品の設置、商品の陳列などのオープン準備、再建にあたり大変お世話になった方をお招きしての復活式の開催を経て、新店舗オープンにこぎつけました。陳列・販売形態や作業システムの模索が続き、メンバー、スタッフ、ボランティアともども悩み苦しんできましたが、暑い夏もエコハウスシステムによってエアコンなしで乗り切ることができ、一般市民の皆様のご協力により、様々なハンディを持ったメンバーにも罹災前と同水準の給料が払えるようになりました。

不審火による火災によって建物が全焼してからまもなく1年10ヶ月になろうとしています。解散寸前の危機的な状況の中で、建物が再建し、ここまで歩んでくることが出来たのも、ひとえに徳島を中心とする全国の市民の皆様方のおかげです。まだまだ不備な点も多く、いろいろご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ひとつひとつ改善していきたいと思っておりますので、新年もよろしくお願い致します。なお、本誌をもちまして、新年のご挨拶と代えさせていただきます。

最後に、当会で2月より専任職員として活動してきた前田敏晃さんが事故により亡くなられました。仕事にも慣れてきて、ようやくこれからというところだっただけに残念でなりません。ご冥福をお祈り申し上げます。

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の障害者地域共同作業所(2箇所)とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指して、様々な方々(一般市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延107-1
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)
TEL・FAX 088-642-1054

(不用品リユース・障害者地域共同作業所)

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

編集サポート 岡田 郁子

年会費：正会員10,000円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。